

中央公民館・勤青ホームだより

令和5年8月1日発行



長瀬町中央公民館・長瀬町勤労青少年ホーム

8月号

長瀬町大字野上下郷 3312 TEL:66-1800 FAX:66-1564 Email:koumin-k@town.nagatoro.saitama.jp



参加者募集中

団体名：**健康体操クラブ**

活動日： 月2回 第3木曜日 「健康体操」

第4火曜日 「うたごえ」

活動場所： 中央公民館 会議室またはコミュニティ集会室

連絡先： 藤井君子 ☎26-7703

会費： うたごえのみ 500円/1回

その他： 医療生協さいたま長瀬支部の活動として「健康体操」と「うたごえ」の活動をしています。

「健康体操」は、セラバンドを使って無理をしないで、ゆったりと運動をしています。

「うたごえ」は、新井先生をアコーディオン奏者に迎えて、歌集の歌を楽しく歌っています。

どなたでも参加できますので、この機会にぜひご参加ください。

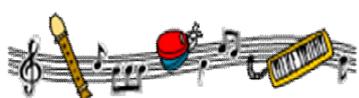
○受付開始は、8月2日（火）からです。ご来館、電話、FAX、Eメールなどにより、お申し込みください。なお、ギター教室は、公民館窓口でお申し込みください。
○受付時間は、午前9時00分から午後5時00分までです。

ながとろ雑学カレッジ

地域に関連したさまざまな分野の事柄について、現地を訪れたり、講義を聴講することによって知識や教養を身につけ、幅広い視野と価値観を養います。

期 日 令和5年8月25日（金曜日）
時 間 午前10時00分から午前11時30分まで
内 容 講演会 演題 「南極が教えてくれること」
第17次南極地域観測隊越冬隊（1976-1977）に参加した体験記と南極から見た地球温暖化について
・南極への道のり
・南極の生活
・隕石
・南極の雪解けと水位の上昇
・南極が発するシグナル などについて聴講予定

講 師 加藤 芳夫 氏
定 員 20名
会 場 中央公民館 視聴覚室
参加費 無 料



ギター教室



ポップスを彩ってきた数々の名曲や心に残る名曲をギターで演奏したい！弾きながら歌いたい！と思う方は幅広い年代で多いはず！ピックや指で弾くなど各自にあったテクニックの習得を目指します。

期 日 8月29日、9月5日、12日、19日、26日、
10月3日、10日 毎週火曜日 全7回

時 間 午後7時00分から午後9時00分まで
場 所 長瀬町中央公民館 1階 コミュニティ集会室

講 師 大野 洋 先生

定 員 6名

参加費 500円

その他 ・主に懐かしいフォークソングの弾き語りを練習します。

・ギターをお持ちの方はご持参ください。

・ご持参いただくギターはクラシック、フォーク、エレキ、ウクレレなど、どんなものでも対応は可能ですが、最近使っていないなど心配がある場合は事前にご相談ください。

・ギターをお持ちでない方でも、クラシックギター2本、フォークギター2本はお貸しすることができます。

・公民館まつりなどの演奏会に参加する予定です。



今月のカレンダー

日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
曜日	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
内 容	名作劇場						押し花アート教室				11日			※8月13日から16日までの夜間（午後5時～午後9時）は臨時休館となります。		歳時記探訪会	

令和5年度 中央公民館基本方針・運営方針

(1) 基本方針

公民館は、住みよい町づくり、生きがいづくり、生涯学習の拠点として、また、勤労青少年ホームは、働く青少年の福祉増進と余暇活動の場として、コミュニティセンターは、住民の憩いと交流の場としての機能を持っている。これらの複合施設として当館は、三つの機能が効果的に発揮できるようにするとともに、激しく変動する時代の流れに対応して、町民の希望にこたえ、より高い文化と教養を求め、町民憲章の実現に努める。

(2) 運営方針

① 講座・教室の設定

ア) 町民の学習ニーズに対応した学習機会（郷土資源の活用、クラブ化の推進、有意義な事業及び関係機関・団体との共催など）を提供できる講座・教室を設定する。

イ) 講座・教室の自主的運営を指導し、学習成果を地域に還元できるようにする。

ウ) 職員、講師、受講者間の連携を密にして学習の効果を高める。

② 自主的団体等の利用

ア) 自主的サークルの活動を推進するための支援を行う。

イ) 各サークル間の交流を深めるための事業を行う。

ウ) 利用の促進を図るため、関係機関・企業へのPRを行う。

③ 図書館活動

ア) 新刊図書を定期購入し、図書室の充実を図る。

イ) 図書システムの活用を図る。

ウ) 県立熊谷図書館の配本所機能の充実と相互貸借の推進を図る。

④ その他

ア) 人権教育、家庭教育、視聴覚教育等について、理解を深め学習効果を上げる。

イ) 「中央公民館・勤青ホームだより」を毎月発行し、当館の活動について、理解、協力が得られるようにするとともに、利用促進に努める。



【ながとろ雑学カレッジ】 風呂敷を使った止血方法

公民館回想録



【押し花アート教室】 作品づくりに奮闘中!

県立熊谷図書館の配本サービス

県立熊谷図書館から2か月に1回の割合で、一般書40冊、乳幼児書40冊、児童書40冊の図書の配本があり、特設コーナーを設けて貸出しを行っています。

次回、配本図書の貸出し開始は、8月4日(金)からの予定です。ぜひご利用ください。

文化展・公民館まつりの日程決定

長瀬町文化展

11月2日(木)

11月3日(金)文化の日

11月4日(土)

公民館・ホームまつり

10月29日(日)

募集要項など、詳細は後日お知らせします。

日	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
曜日	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	
内容				サークットチエア講習会 押し花アート教室				ながとろ雑学カレッジ			サークットチエア講習会	ギター教室		月末休館日	

新刊図書のご案内

著者名・書籍名	内容紹介
<p>磯 みゆき それでいい!</p> <p>ありのままの自分の すてきさに気づく物語。</p> 	<p>絵を描くのが大好きな、きつね。上手下手なんて考えもせず、夢中で絵を描いていました。あるとき、先生がきつねに展覧会に絵を出品するように勧めました。きつねは「みんながおどろくような、すごい絵を描く!」と意気込みます。だけど、なにを描いても不安ばかりが募ります。あんなに楽しかったのに、とうとうきつねは絵を描けなくなって……。</p> <p>※第69回青少年読書感想文全国コンクール課題図書 小学校低学年の部</p>
<p>横田 明子 ライスボールと みそ蔵と</p> <p>ユキちゃんとの出会いを きっかけにみそ蔵改造計 画が動き出す!</p> 	<p>古い蔵で手作りみそを作る家に生まれたジュンは、お父さんから「もっとみそにきょうみをもって」といわれるのがいやでたまりません。そんなとき、ロンドンからの転校生、ユキちゃんに「蔵をみせてほしい」とたのまれます。これがきっかけで、ジュンの心はだんだんと変化して……。ジュンがみそ蔵で思いついたアイデアとは?</p> <p>※第69回青少年読書感想文全国コンクール課題図書 小学校中学年の部</p>
<p>高森 美由紀 ふたりのえびす</p> <p>素で生きぬけられるほ ど小学生ライブはあま くない。</p> 	<p>青森県八戸市の郷土芸能「えんぶり」のえびす舞の踊り手に抜擢された太一。女子から人気の高い、大路優希とふたりでえびす舞の練習をするなかでたがいの気持ちをぶつけ合う。キャラをあっさり捨てる優希、キャラにしがみつく太一……最後にふたりがつかんだものとは?</p> <p>※第69回青少年読書感想文全国コンクール課題図書 小学校高学年の部</p>
<p>長谷川 敦 人がつくった川 荒川</p> <p>江戸をつくったのは 家康じゃなく荒川だった?</p> 	<p>首都圏をつらぬき、流域に約1000万人が住む荒川は、人の手でつくられた川であることを知っていますか。かつて荒ぶる川=荒川の流れを変えることで江戸の繁栄はうみだされ、たび重なる洪水から人々を守ってきました。川の歴史と流域の暮らしの変化をていねいに追いかけてながら、近年の大規模な水害をどう防ぐかまで、荒川の過去・現在・未来を旅します。</p> <p>※第69回青少年読書感想文全国コンクール課題図書 中学校の部</p>
<p>五十嵐 律人 魔女の原罪</p> <p>僕らの住む街は何か おかしい</p> 	<p>僕らの通う鏡沢高校には校則がない。ただし、入学式のときに生徒手帳とともに分厚い六法を受け取る。校内のいたるところには防犯カメラが設置されている。髪色も服装も自由だし、タピオカミルクティーを持ち込んだって誰にも言われない。すべてが個人の自由だけれども、法律が絶対視される学校生活、魔女の影におびえる大人、血を抜き取られた少女の変死体。一連の事件の真相と共に、街に隠された秘密が浮かび上がる。</p>
<p>保坂 隆 「ひとり老後」の 知恵袋</p> <p>これからの毎日は、人生 を頑張っ歩いてきた ごほうびなのです。</p> 	<p>「ずっとひとりで寂しい、老いていくことが辛い」「相談できる人がいない」「自分だけ取り残されている気がする」「これからのお金、健康の不安がなくなる」「ひとりの老後に不安や孤独を感じ、このようなお悩みを感じていたら、本書は必ず助けになります。暮らしに役立つ具体的なアドバイスや、不安を手放せる心構えを「知恵袋」としてまとめた1冊です。</p>
<p>飯野 和好 人生はチャンバラ劇</p> <p>長瀬町出身の絵本作家、 飯野和好 氏の痛快もの がたり</p> 	<p>絵本づくりの原動力になっている幼少期から学生時代、アートディレクター堀内誠一氏に見初められてイラストレーターになるまで。そして絵本作家になるまでの出来事を貴重な図版や秘蔵写真とともに収録。若い頃の道の踏みまちがいや失敗、迷い・涙・笑いの半生を描いた書き下ろし自叙伝とイラストエッセイを初公開!</p>
<p>たしろ ちさと はなびのひ</p> <p>※寄贈:匿名</p> 	<p>今日は待ちに待ったお江戸の花火大会。早く夜にならないかと退屈していたばんきちは、お母ちゃんに頼まれて、花火職人のお父ちゃんに夜食を届けに出かけました。すると、それを見た人たちが次々と後をついてゆき、町中が大騒ぎに!</p>

編集後記

8月7日は、旧暦の「七夕」です。夏の夜空を縦断する天の川を挟んで、ひこ星はわし座のアルタイル、おりひめ星はこと座のベガです。ご家族で星を眺めながら、星座にまつわるお話を読んでみてはいかがでしょうか? 公民館に希望の本がない場合は、他の図書館からお借りできます。お気軽にご相談ください。